



覚えておこう救急処置 虫刺され



最近、毛虫やムカデなどに刺された人をよく見ます。虫に刺されると、赤く腫れたり、かゆくなったりします。虫に刺された時には正しい手当をしましょう。

- ① 針や毛が残っていたら、毛抜きやガムテープではがすなどして取り除く
- ② 毒が入ってしまった場合は、傷のまわりを指でつまんで押し出す
- ③ 石けんで丁寧に洗って、水道水で流す
- ④ 腫れやかゆみがある場合には、ガーゼやタオルの上から保冷剤などで冷やす



かゆくてもかいてはいけません。かゆみや腫れが強かったり、吐き気をもよおしたりする場合は、病院に行きましょう。

虫の種類と症状

熊本県内でマダニによる感染症が急増しています。山や草むらでは長袖・長ズボンを着用しましょう。



スズメバチ

毒性が強く刺されると赤く腫れ、強い痛みがあります。もしも刺された部分以外の全身に赤い腫れが出た場合、前にも刺された事によるアナフィラキシーショックの可能性があります。すぐに救急車を呼びましょう。



アシナガバチ

刺されると痛みや腫れが起こります。アシナガバチの毒でもアナフィラキシーショックが起こる可能性があります。

マダニ

刺された時はほとんど痛みを感じません。しばらくすると、ほくろのようなものに気が付きますが、それは血を吸ったマダニが大きくなったものです。無理にとろうとするとマダニの一部が皮膚に残ってしまう可能性があるため病院で取ってもらいましょう。

チャドクガ

春と秋につばきやお茶の木、さざんかななどの葉の裏に発生します。触ると皮膚が赤く腫れて、かゆくなります。葉に残っていた毛や死んだ幼虫に触ってもかぶれます。



ムカデ

かまれると、強い痛みと腫れが出ます。ムカデの毒は、熱に弱いという性質があります。そのため、お湯（45度程度）につけておくことで、毒の効力を弱めることができます。ただし、火傷しないように注意が必要です。



ブヨ（ブユ）

刺されると血が出ますが、あまりかゆみや腫れはありません。刺されて半日～2日くらいすると、赤く腫れて痛みが出ます。



アブ

刺されると強い痛みを感じますが、赤みや腫れは出ませんが、数時間経つと、赤く腫れます。

